

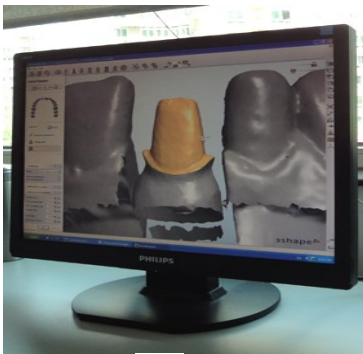


※レーザーボンド誕生!

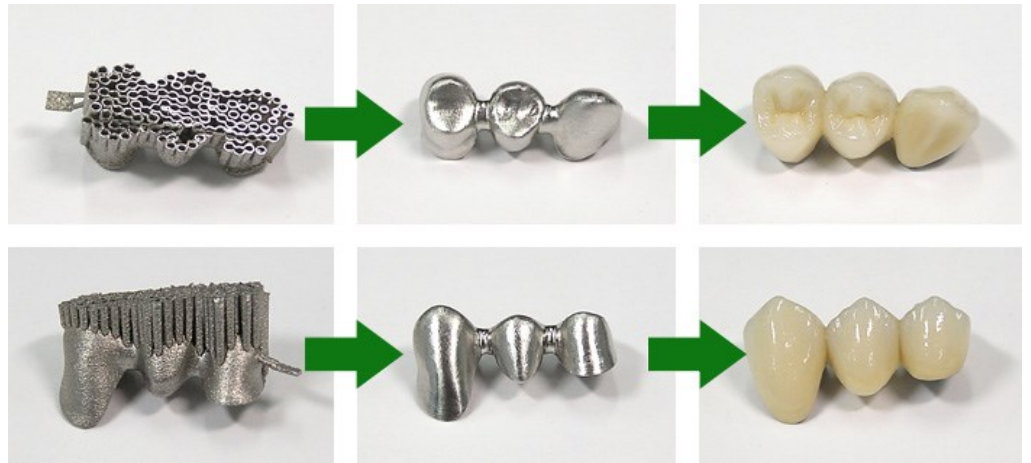
現在、被せものの治療の中で、一番見た目がキレイで、自然に見えるのは、**メタルボンド(セラミック)**です。

メタルボンドの輝きは、半永久的で変色もまったくありません。ただ欠点として、手作りの複雑な工程と、適合をよくするため、金(ゴールド)の含有量が多い金属を使用します。そのためどうしても高額になります。

今回、ドイツの最新機器「EOSINT M270」(略してEOS)を導入した、東京の歯科技工所との取引開始により、半額の値段で、皆さまへ提供できるようになりました。



歯の模型をスキャンし、パソコンの中で被せものを作り、EOSでコバルトクロムの粉体の上に、1500度のレーザーを照射、焼結。0.05ミリずつ金属にしていきます。そのため、誤差はほとんどありません。金(ゴールド)を使わなくても、今まで以上の適合性を誇ります。これで、行程の2/3は終わります。あとは、セラミックを1200度の高温で焼き付けます。



また、EOSに使われる金属は、専用の特殊な粉体処理を施された金属です。優れた強度、耐食性に加え、歯科修復での様々な要求を満たすよう、開発されました。歯科材料の生体適合性と細胞毒性に関して、欧州統一規格のEN ISOに対応した、クラウン、ブリッジ用金属です。

従来のメタルボンドに比べて、見た目は全く変わりません。輝きも半永久的ですし、変色はありません。ただ、技工士が直接口の中を見ないため、色調の再現性が若干劣ることがありますが、値段が半額なのは、魅力的でしょう!!!

わからないこと、もっと詳しく知りたい方、どんなことでもお気軽にスタッフにおたずね下さい。